

2016年9月12日

あおぞら投信株式会社

『食べてみて 美味しさ感じる 満足と 栄養バランス 知る健康体』

投資の原則として資産分散という考え方があります。分散する対象としての伝統的な資産としては債券と株式があり、これに代替投資対象としてREIT(不動産投資信託)があり、国内と海外に分別することで資産分散の対象は広がります。さらに金などのコモディティも投資対象となり得ます。そして、実際の投資に際して、どのようなポートフォリオ(資産構成)を保有するかはそれぞれの投資家が決めるものです。

さらに投資の原則としての“分散投資”と言った場合、単に対象資産を分散しただけでは十分とは言えません。なぜならば、様々な資産にはリターンやリスクに影響を及ぼすファクターがあるからだと考えられます。ファクター(factor: 要素、要因)の語源はラテン語のfacio(つくるという意味)です。従って、ファクターとはあらゆる資産をつくる要素のことです。例えば、債券と株式への分散投資を考える時に重要なことは、相関を知ることです。その相関の決定要素が実質金利と期待インフレ率となります。従ってその他の資産分散を考える時にも同様に実質金利と期待インフレ率という決定要素から、リスクリターンを考えることが大切なのです。資産というラベルを見て選択するのではなく、資産の持つリスクリターンを決定する要因をつかむことで選択する必要があります。これは株式という一つの資産でも、異なるファクターを評価することで市場全体の動きの中で、選択する力をもつことになるのです。

(参考:『資産運用の本質 ファクター投資への体系的アプローチ』アントニー・アング著 2016年金融財政事情研究会)

中長期的に市場をアウトパフォームと言われている6つのファクター

代表的なファクター	内容
バリュー (割安度)	利益等のファンダメンタル価値に対して株価が低い株式の超過リターン
サイズ (企業規模、時価総額)	大企業に比べて規模の小さい企業(時価総額ベース)の超過リターン
モメンタム (株価や業績の勢い)	過去のパフォーマンスがより好調な株式の超過リターン
ボラティリティ (価格の変動性)	ボラティリティやベータ等が低い株式の超過リターン
クオリティ (企業の質)	低債務、安定的利益成長等を持つ株式の超過リターン
イールド (配当利回り)	平均より高い配当利回りの株式の超過リターン

出所: MSCI Inc.

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号: あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第2771号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス: <http://www.aozora-im.co.jp/>